

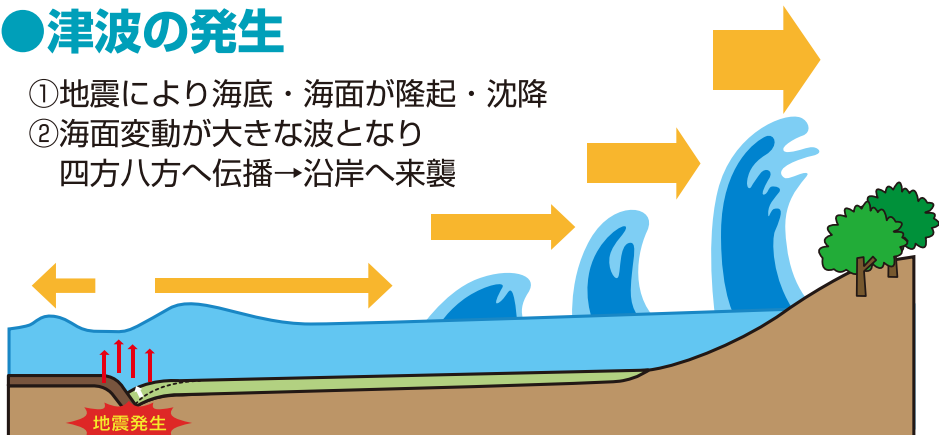


津波のしくみ・津波警報

津波のしくみと特徴

●津波の発生

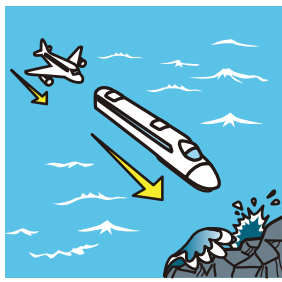
- ①地震により海底・海面が隆起・沈降
- ②海面変動が大きな波となり
四方八方へ伝播→沿岸へ来襲



津波とは、海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底における地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされるものです。発生した海水面の動き(上下動)が特に大規模なものであれば、沿岸に達すると破壊力の大きな大津波となります。

●津波のスピードは速い！

海を伝わる津波の速さは、沖合でジェット機並み、海岸付近でも新幹線並みです。



●津波は海からくる洪水！

特に引き波は流れが速く、50cmの津波で海に引き込まれ行方不明になったケースがあります。

●津波は繰り返す！

津波は、1回限りではなく、何度も繰り返し来襲します。始めに到達した波(第1波)が一番高いとは限らず、その後、数時間以上経過してから最大の波が到来することもあります。



●引き波で津波が始まるとは限らない！

いきなり大きな波が襲ってくることもあります。

津波警報・注意報

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。また、松前町でも避難指示(勧告)を発表します。

津波警報・注意報の分類・とるべき行動

種類	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準) [※]	巨大地震の場合の表現		
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<予想高さ≤10m)			
	5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、第1報では津波の予想される高さは数字ではなく、『巨大』、『高い』という言葉で「非常事態」であることを伝えます。その後、詳細な地震の規模が判明した段階で、予想される津波の高さを数字で発表します。 [※]発表基準は、変更される場合があります。くわしくは気象庁ホームページをご確認ください。(13P参照)